

質問 年度毎に順番を決めて建替え、及び補修計画を策定できないか伺う。

答弁 町長 公共施設の統合・再編等も視野に入れ、町の財政状況を勘案しながら整備していく。

質問 第五次知名町総合振興計画通りに実行できるのか。

答弁 町長 財政状況を勘案しながら計画的に推進する。

質問 田皆幼稚園と田皆保育所の跡地を活用して町営住宅を建設して住宅不足の解消ができないか。

答弁 町長 田皆幼稚園・保育所の跡地利用については、現在、具体的な活用方針を決定するに至っていない。今後、活用の方向性を決定する際に、公営住宅建設も一つの選択肢として検討したい。

質問 知名小学校の体育館が完成、次に老朽化で危険な田皆小学校や中学校の体育館建替えが早急

にできないか。

答弁 教育長 老朽化の激しい知名中学校体育館建設については平成二十五年度着工できるような計画です。他の学校の体育館についても危険度、緊急性を考慮しながら順次計画的に建設を推進する。

各地域の支え合い体制は。

町長：地域生活応援員の養成をする。

質問 建設計画を年度毎に策定して、計画的に実施できないか。

答弁 教育長 知名町総合振興計画に載せてあり、他の体育館建設についても計画的に建設できるよう協議して行く。

質問 町民体育館の施設管理体制について。

答弁 教育長 昭和61年に防衛施設周辺施設整備事業で整備され、本町体育館の拠点施設として多くの町民に利用されており、外部・内部の改修工事も終え町民に快適に利用していただくため館内のワックス清掃等を行っております。



奥山直武 議員

質問 白浜漁港の船揚げインチの修復は。

答弁 町長 船揚げ用ウインチについては大型漁船のドック用として整備された施設で、台風等の被害により破損し、補助事業による整備の検討も致しました。が利用実績等が無いために事業申請が却下されました。今後、白浜漁港の防波堤の嵩上げ工事が実施されるので効果を見ながら検討する。

質問 暮らし安心・地域支え合い推進事業は今後、どのように進めていくのか。

答弁 町長 本事業は、地域の支え合い体制の強化を図るコーディネーターを設置し、高齢者や障

害者の状況及び生活支援等のニーズの把握、ボランティアの紹介、支援等を実施し、地域支え合い体制づくりを行なおうとするものです。今後、この事業を委託している社会福祉協議会と連携を図りながら、援護者一人ひとりの生活を地域全体で支え合う地域社会づくりを目指していきます。

質問 商店街に買い物客を集めるために、全天候型のアーケード設置を商工会とタイプをして進めることはできないか。

答弁 町長 街の商店街にはバス停留所も設置され、買い物客には便利な環境となっておりますが道路幅が7mと狭く、商店街を車・自転車・歩行者等が往來しているのが現状です。全天候型のアーケード設置をすることによって、交通規制や信号機への配慮等の問題と事業導入により地元負担も必要となることから、商工事業者にとっても負担も大きく維持管理等の問題もあり事業効果も薄いものと思われれます。

住吉塚の周辺整備の策定について。



山崎賢治 議員

質問 住吉貝塚は国の指定を受け五年が経過している。整備予算の進捗状況は。

答弁 町長 検討委員会

とめ、専門家を交えた指導委員会等において基本構想を固め、平成二十六年に実施計画、設計に進みたいと考えております。

質問 農地の有効利用について。

答弁 町長 本町においては、現在十一・八ヘクタールの遊休農地があり、解消に向けて、農地パトロール、広報誌等による啓発活動、所有者への指導